



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 兼松サステック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7961 URL <http://www.ksustech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 實  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社部門統轄 (氏名) 榎谷 修司 TEL 03-6631-6600  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月31日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,777	△13.0	140	△36.1	154	△37.9	101	△38.7
2020年3月期第1四半期	3,193	2.3	219	21.4	249	22.9	165	22.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 99百万円 (△39.6%) 2020年3月期第1四半期 165百万円 (15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	24.52	—
2020年3月期第1四半期	39.99	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,533	7,951	75.5
2020年3月期	10,987	7,954	72.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,951百万円 2020年3月期 7,954百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	△21.7	300	△43.3	330	△43.1	210	△46.3	50.67
通期	11,000	△15.3	640	△30.3	700	△31.1	440	△36.7	106.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年7月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,149,200株	2020年3月期	4,149,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,562株	2020年3月期	4,516株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,144,669株	2020年3月期1Q	4,144,827株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための経済活動自粛等の影響により景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界につきましては、戸建て住宅、賃貸住宅を中心に新設住宅着工戸数は減少し、さらにハウスメーカー等の営業活動が制約されたことから受注状況も悪化し先行き不透明な状況となりました。

このような環境のもとで当社グループは、取引先および従業員の感染防止を優先しながら、各事業で製造・販売の組織体制の改善に努めました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は27億7千7百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は1億4千万円(前年同期比36.1%減)、経常利益は1億5千4百万円(前年同期比37.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### ジオテック(地盤改良)事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのハウスメーカー等の営業自粛の影響から、一般の地盤調査や地盤改良工事の販売、当社独自の高耐久性を有した木製パイルを施工材料とする「環境パイル工法」の販売および自社開発の地盤改良関連技術や関連する部材等の販売はいずれも減少いたしました。売上高は12億1千万円(前年同期比11.6%減)、営業利益は2千8百万円(前年同期比62.8%減)となりました。

なお、千葉県流山市に建設中でありました技術開発センターが6月に竣工し、設計部門および関東営業所を移転いたしました。

#### 木材加工事業

新型コロナウイルス感染症の影響による新設住宅着工戸数の減少をうけ、保存木材の生産および販売数量は前年同期比減少いたしました。また、保存処理薬剤の販売も顧客工場の稼働低下等の影響から減少いたしました。売上高は8億8千4百万円(前年同期比17.7%減)、営業利益は7千1百万円(前年同期比31.3%減)となりました。

なお、6月に竣工した技術開発センターに開発部門を移転いたしました。また、9月に新設予定の茨城工場(茨城県常総市)の設置準備を進めております。

#### セキュリティ機器事業

監視カメラ等の販売は例年、最需要期の3月の後、第1四半期で反動減となる傾向がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため営業活動が抑制されたこともあり、収益は前年同期比減少いたしました。売上高は5億7千3百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は2千2百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

#### 石油製品事業

ガソリン消費の減少傾向が続く環境下、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛、企業活動の抑制から燃料油の販売数量は前年同期比減少しました。ガソリンスタンド店頭でのサービス接客対応は感染症予防のため抑制いたしましたが、燃料油配達業務に努めました。売上高は原油価格の低下もあり1億8百万円(前年同期比36.2%減)となり、営業利益は1千6百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は105億3千3百万円であり、前連結会計年度末と比較して4億5千4百万円減少いたしました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により11億2千9百万円減少いたしました。固定資産は、技術開発センターの竣工による土地、建物及び構築物の増加等により6億7千5百万円増加いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税の減少等により4億2千2百万円減少いたしました。固定負債は退職給付に係る負債、商品保証引当金の減少等により2千8百万円減少いたしました。

純資産は、四半期純利益1億1百万円を計上いたしました但し利益剰余金の減少等により前連結会計年度末から3百万円減少し、79億5千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない状況下、当社グループの事業への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除を受け、当社グループの営業活動も回復しつつあることを踏まえ、同感染症の第2波による再度の緊急事態宣言の発出等の社会的制限が実施されないことを前提として、業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年7月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響につきましては、主に以下の会計上の見積りで使用する仮定に与える影響を評価した結果、当第1四半期連結会計期間末において変更を必要としたものではありません。

- ・棚卸資産の評価
- ・固定資産の減損
- ・繰延税金資産の回収可能性
- ・商品保証引当金の評価

なお、上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は同感染症の収束時期等、様々な要因により変動する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,881	3,130
受取手形及び売掛金	2,242	1,902
商品及び製品	935	873
原材料	414	417
その他	108	128
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,579	6,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	216	692
機械装置及び運搬具(純額)	233	239
土地	619	1,008
リース資産(純額)	10	8
建設仮勘定	176	—
その他(純額)	19	47
有形固定資産合計	1,277	1,997
無形固定資産		
ソフトウェア	160	154
その他	18	21
無形固定資産合計	179	176
投資その他の資産		
投資有価証券	79	78
繰延税金資産	270	230
投資不動産	1,449	1,447
その他	154	158
貸倒引当金	△2	△5
投資その他の資産合計	1,951	1,909
固定資産合計	3,407	4,083
資産合計	10,987	10,533

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,623	1,505
リース債務	5	4
未払法人税等	199	17
賞与引当金	231	119
役員賞与引当金	17	—
その他	306	314
流動負債合計	2,383	1,961
固定負債		
リース債務	6	6
退職給付に係る負債	215	196
商品保証引当金	333	324
資産除去債務	10	10
その他	82	83
固定負債合計	649	620
負債合計	3,032	2,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	3,482	3,480
自己株式	△7	△7
株主資本合計	7,947	7,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
繰延ヘッジ損益	6	4
その他の包括利益累計額合計	7	5
純資産合計	7,954	7,951
負債純資産合計	10,987	10,533

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,193	2,777
売上原価	2,342	1,986
売上総利益	851	790
販売費及び一般管理費	631	650
営業利益	219	140
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	2	—
受取賃貸料	22	22
その他	10	2
営業外収益合計	36	25
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	1
賃貸費用	6	6
その他	0	3
営業外費用合計	7	11
経常利益	249	154
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	249	151
法人税、住民税及び事業税	33	8
法人税等調整額	50	40
法人税等合計	83	49
四半期純利益	165	101
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	165	101



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	165	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△0	△2
その他の包括利益合計	△0	△1
四半期包括利益	165	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	99
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,369	1,074	579	169	3,193	—	3,193
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	306	—	10	317	△317	—
計	1,369	1,381	579	180	3,511	△317	3,193
セグメント利益	76	103	23	13	217	2	219

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去2百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,210	884	573	108	2,777	—	2,777
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	241	—	7	249	△249	—
計	1,210	1,126	573	115	3,026	△249	2,777
セグメント利益	28	71	22	16	138	1	140

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期において、研究開発施設の建設により、前連結会計年度の末日に比べ、「ジオテック」のセグメント資産の金額は268百万円、「木材加工」のセグメント資産の金額は632百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。